

厚板溶断品 薄物加工の機能強化

最新鋭ファイバー機導入

中央スチール

中部地区の有力厚板溶断業、中央スチール（本社・岐阜県揖斐郡大野町、社長・森田勝也氏）は、薄物厚板溶断製品の加工機能を大幅に強化した。アマダマシナリー製の最新型ファイバーレーザー加工機を全国で初めて導入し、今月から本格稼働をスタートするとともに、保有する2台の設備を廃却し、生産体制の再編成を行った。段取り、切断、印字を個別のステーションで行えることに加え、24時間稼働が可能な高い生産性を武器に、主に20ミ以下の厚板切板の納期対応力を高めたい考えだ。総投資額は約3億円。

産性が大きく向上する。32ミ厚までに対応するが、建築・工作機械向けを主体とする25ミ厚以下の製品をメインで手掛ける方針。

今回の設備ラインアップ見直しを通じてレーザー切断機3台、ガス溶断機1台、ポータブルガス溶断機3台（プラズマ切断機は0台）体制とし、24時間稼働できる設備は3台に増えた。およそ700ト

の月間加工能力に変わりはない。森田社長は「受注から納品まで3〜4日という短納期対応力に磨きがかかった。今後薄物の小ロット・多品種案件の受注拡大、加工高アップに努めたい」としている。

同社は建築、産業機械をはじめとする需要家に厚板溶断製品、二次加工品を短納期で供給する。昨年末には加工業の円滑化・安全性向上を目的に近隣地に新倉庫を建造した。

近年薄物の引き合いが段階的に増加し、生産効率と加工スピードを一段と上げる必要が生じていた。金属ヒュームの抑制を通じた構

内環境改善、ランニングコストの低減も狙って、ガス溶断機・プラズマ切断機各1台を撤去した上で、ファイバーレーザー機を新設することとした。

平鋼7.0m定尺販売開始
平鋼・角鋼・広幅平鋼

西村鋼業 検索

西村鋼業株式会社

| | | |
|-------|--------------|--------------|
| 本社 | 千葉県浦安市港28 | 047(352)3181 |
| 神奈川支店 | 0276(56)2460 | |
| 北関東支店 | 0467(76)0211 | |
| 神奈川支店 | 0223(29)2460 | |
| 東北支店 | | |

http://www.nishimura-kogyo.co.jp/

一昨年に発注、昨年12月に設置が完了したのは、アマダマシナリー製の最新機種「L-CIVALSTER-6225AJ」（発信出力10KW）で、全国で初めての導入となる。

今月からオペレーターの操作教育を行いながら、本稼働に移行する計画だ。新設備購入に当たって、令和4年度事業再構築補助金制

度を活用した。8×20サイズの大板を搭載可能な8段パレットチェンジャーを架台中央に据え、インクジェット式印字・野書き機能を搭載する。片付けなどの段取りを行うスペース、切断機、印字を三方向別箇所と同時に進めることが可能となる。

16個のノズルを自動交換する機能も備え、さまざまな板厚の製品を効率良く切断でき生



全国初導入の「L-CIVALSTER-6225AJ」⑤、段取り、切断、印字を三方向で行う